

今できることを
ひとつずつ

県北バスケットボール大会に 山田高校女子を招待

毎年4月下旬に開催している「県北バスケットボール大会」震災のため中止も検討されましたが大会運営をする町バスケットボール協会の近藤豊美彦会長は「大変な時だからこそバスケットで元気になってもらいたい」と7月3日、大会が開催されました。

8月6～7日の「葛巻カップ」にも同協会は、被災地の5チームを招待。今年、プロバスケットbjリーグに参戦する地元岩手の「ビックブルズ」の選手によるクリニックも前日の5日に予定されています。

体育館が避難所になり、練習が満足にできない状態ながらも今年の県高総体でベスト8入りした山田高校女子バスケット部を招待。大会前日の7月2日、本町入りした同部は社会体育館で葛巻高校と合同練習を行い、葛巻高校のセミナーハウスに宿泊し、焼き肉や花火を楽しみました。

斎藤しおりさん（山田高2年）は「大会に参加させていただきありがとうございます。広いコートで試合ができてすごく楽しかったです。勉強にもなりました」とバスケットができる喜びでいっぱい。蒸し暑いコンディションの中でしたが、同部は全3試合、笑顔でボールを追いシュートを狙い続け、見事優勝しました。

県北バスケットボール大会女子準決勝山田高校対葛巻高校

俳句を 楽しもう

葛巻俳句会 斎藤 誠子

8月は、離れて暮らす親戚が訪れたり学生たちが帰省したり、何かと故郷を意識させられます。そしてあらためて葛巻の自然や史跡を訪ねてみたくになります。

句碑を探す散歩はいかがですか？葛巻には俳句の句碑が2つあります。一つ目は宝積寺さんの境内にある松尾芭蕉の句碑です。葛巻俳句会会長の高家卓範さんが八戸へ出掛けた折りに調べた結果、葛巻の建立年は寛政3年（1791年）ですが、八戸にある句碑より1年早くつくられたことがわかりました。その頃から葛巻では俳句を楽しむ人々



秋葉神社にある遠藤俊次氏の句碑

がいて文化があった証拠ですね。現在の状態は、風雨に晒されたため多少読みにくくなっておりますので、葛巻の史跡としてぜひ復刻を願っております。

志ばらくは
花の上なる 月夜かな
芭蕉

（催主 石映 路田 野阿
連中書）

江戸時代からの歴史を持つ俳句の集まりは、戦後、当時の遠藤医院・遠藤俊次氏を中心に、PTAも加わり続いて参りました。

2つ目はその遠藤俊次氏（俳号・ぬかご）の句碑が新町の秋葉神社にあります。神社

人形劇団くずまき 陸前高田で人形劇



人形劇団くずまき（石井幸子代表・5人）は7月21日、陸前高田市の小友保育所を訪問し、子どもたちに人形劇を披露しました。

「スーパー人形劇」「かえるの合唱」「三匹の子ぶた」を上演。手づくりの小さな人形を使った愉快なお芝居に、子どもたちは大喜び。

石井代表は、「子どもたちを喜ばそうと思って訪ねましたが、逆に私たちのほうがうれしくなって帰ってきました」と手応えを感じていました。

江川中学校では じゃがいもを育てる

江川中学校（川村俊校長・生徒44人）は、被災地の中学生との交流に使用するじゃがいもを学校近くの畑で育てています。

7月20日、収穫をしたのは「アンデスレッド」という赤いじゃがいも。そのほかにも「キタアカリ」「インカのめざめ」「レッドムーン」と合計4種類を植えています。

全て収穫し終えた2学期に、被災した中学生との交流を計画しています。



秋に手打ちそばを届けたい 農業委員がそばまき

町農業委員会（鈴木努会長・委員15人）は秋に被災地へ手打ちそばを届けようと7月21日、田の沢地区の遊休農地2反歩を活用し、そばまきをしました。



順調に育てば10月上旬に収穫、その後手打ちそばを約200食作り、牛乳など町の特産品とともに被災地へ届ける予定です。

委員の市村和子さん（五日市）は「秋には手打ちのおいしいおそばを届けたいと思っています」と笑顔で話しました。

夏

「行事」母の日、父の日、端午、鯉のぼり、原爆忌、山開き、祭、「動物」アマガエル、ホトトギス、カッコウ、燕の子、イワナ、ヤマメ、カブトムシ、蟬、蚊「植物」バラ、アジサイ、栗の花、青梅、さくらんぼ、パイナップル、万緑、桑の実、ひまわり、茄子

秋

「時候」残暑、晩秋、夜長、爽やか、肌寒、冬近し、「天文」秋晴、秋の空、鱗雲、月、星月夜、天の川、流星、台風、稲妻、霧「地理」秋の山、刈田「生活」運動会、新酒、新米、枝豆、松茸飯、新そば、燈籠、冬支度、かかし、稲刈り、相撲、月見、紅葉狩り「行事」七夕、ねぶた、竿燈、秋祭り、盆、墓参り「動物」鹿、猪、渡り鳥、キツツキ、サンマ、鮭、虫、「植物」桃、梨、柿、リンゴ、なななまど、どんぐり、銀杏、朝顔、コスモス、カボチャ、稲

俳句 季寄せ

2回目の今回は、夏と秋の季語をご紹介します。「風と恋の俳句コンテスト」にも全国から続々と応募が集まっています。

これらの季語をヒントに、皆さんも一句ひねってみてはいかがですか。

※出典

・合本 俳句歳時記第3版（角川書店 編）

宝積寺にある松尾芭蕉の句碑